

2024度 水稻防除暦

(株) 山東農園 [フリーダイヤル] 0120-09-9393 [FAX] 073-478-2655

時期	対象病害虫	薬剤名	倍数	使用基準	備考	
育苗期	種子消毒	もみ枯細菌病・馬鹿苗病	スルルタックスターSE	200倍	浸種前/1回	24時間浸漬 乾燥籾種1キロあたり処理薬量2L ※薬液浸漬後効果安定のために必ず風乾する
		ごま葉枯病・いもち病				
		イソカレンヂウ	スミチオン乳剤	1000倍	は種前/1回	
	播種直後	苗立枯病	ダコレート水和剤	400倍	は種時から緑化期/2回	1箱当り希釈液0.5Lを土壌灌注
	代かき	除草	兆(キザシ) フロアブル	500ml/10a	植代時～移植7日前又は移植直後	
田植当日	紋枯病・いもち病 ニカメイチュウ・コメカガ ヨコバイ・イネグムシ・ウカ類	スタウトアレス箱粒剤	1箱50g	は種時（覆土前）～移植当日/1回	水稻苗箱薬剤 ○スタウトアレス箱粒剤（紋枯なし）	
本田期	田植後 ○代かき時除草あり →田植後2-3週間目 ○代かき時除草なし →田植後1週間目	除草	粒剤 ホクト粒剤	3kg/10a	移植後5日～ノビエ3葉期 ただし、移植後30日まで	○田植同時除草処理には、忍（シルビ）粒剤1kg <u>中後期除草剤</u> ○クリンチャーEW（ノビエ・キョウスゲメヒ） ○クリンチャーバスME（ノビエ・広葉） ○バサグラン粒剤（広葉） ○ゲパード粒剤・ジャンボ（ノビエ・広葉）
	液剤 ゼータプラス		500ml/10a	移植後3日～ノビエ4葉期 ただし、移植後30日まで		
	ゼータプラスジャンボ		200g/10a			
	発生時	スクミリンゴガイ	ジャンボたにくん	2kg/10a	移植後、ただし収穫60日前/2回	
	田植1ヶ月後～ 出穂前5日前	いもち病・内穎褐変病	ブラシンF	1000倍	7日/2回	○ニカメイチュウなどハマキムシ類の発生が多い場合は、パダン水1500倍を加用する。
		紋枯病	モンカットF	1000倍	14日/3回	
出穂前5日前	ツマグヨコバイ・ウカ類	トレボンEW・乳剤	1000倍	14日/3回		
	コメカガ・イネグムシ類					
出穂後10日～	いもち病	ブラシンF	1000倍	7日/2回	○秋ウンカにはアプロード水和剤1000倍を加用し、株元までしっかり散布する。 ○秋ウンカ多発園では、エミリアFL1000倍（収穫7日前/2回）が良い。	
	紋枯病	バリダシン液剤	1000倍	14日/5回		
	カメムシ類・ウンカ類	ダントツ水溶剤	4000倍	7日/3回		

※太文字および下線部分が昨年の防除暦からの変更点になります。